

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	山梨県甲斐市	シカ、イノシシ、中型獣類	◎	－	－	－

現状・課題

甲斐市においては、耕作放棄地の増加や緩衝帯の減少に起因し、中山間部でのシカ、イノシシによる被害や、アライグマやハクビシン等の中型獣類による被害が増加。一方で実施隊員（猟友会）の高齢化や減少により、わなの見回り負担の増加が懸念されており、捕獲活動の省力化が急務。

事業概要

- ・中山間部にて、シカやイノシシ用のくくりわな付近にセンサーカメラを設置することで、実施隊と市担当がわなの状況を映像で迅速に確認できる体制を構築
- ・中型獣類の捕獲には、開閉情報通知機能付き小型箱わなを活用することで、省力的な捕獲を実施

活用機器

- ・センサーカメラ
- ・わな情報確認用システム
- ・開閉情報付き捕獲わな

モデル地区の普及範囲

- ・県内

【イメージ】

ICT機器を活用した捕獲活動の省力化

